

2011年度プログラム

毎月第3土曜日 (※8月はお休みです。)

■セミナー 14:00~15:30
 ■フォーラム 15:45~16:30
 ■ヴェスペラ・ムジカ 16:45~17:15

事前の申し込みは必要ありません。直接会場にお越し下さい

〈セミナー受講料〉 毎回ごとに 一般2,000円 学生1,000円
 全8回分 一般14,000円 学生7,000円

●当日13:30より受付を開始します。 ●フォーラムへの参加は基本的に無料ですが、セミナー参加に続くフォーラムへの参加が望ましいです。
 ●ヴェスペラ・ムジカは入場無料です。

〈講師〉
 ●加藤千加子(オルガニスト・プロテスタント教会音楽家、チューリッヒ音楽大学卒)
 ●吉田文(オルガニスト・カトリック教会音楽家、ケルン音楽大学卒)

5.21 「教会」というところ 会場:神言神学院大聖堂

教会音楽が奏でられ、捧げられる場所。それは「教会」です。教会音楽を理解する上で欠かせない「教会」という場所についての基本的な知識と新たな発見を、実際に神言神学院大聖堂内でご案内します。普段は教会に足を踏み入れにくいという方も、この機会に是非どうぞいらして下さい! 【講師:吉田文】

6.18 ミサ 会場:ロゴスセンターホール

口短調ミサ、戴冠ミサ、ミサ・ソレムニス、そして諸レクイエム作品。これらは「ミサ」という典礼の場にインスピレーションを発する共通点があります。それでは一体「ミサ」では具体的に何を行なっているのでしょうか?映像と音源を使用して、「ミサ」と「ミサ曲」の関係について判りやすく紹介します。 【講師:吉田文】

7.16 聖書 会場:ロゴスセンターホール

ユダヤ教・キリスト教・イスラム教をまとめてアブラハムの宗教と言われますが、それぞれどのような関係にあるのでしょうか、又、キリスト教の中ではどのような教派に分かれて行ったのでしょうか。歴史的な背景を踏まえたうえで、芸術作品を例としながら、初めて聖書を手取る方でも判りやすいように聖書に書かれた物語を学びます。 【講師:加藤千加子】

※8月はお休みです。

「オルガニストForum」を新しく開催

会場:カトリック五反城教会文化教室

毎月第1土曜日にカトリック五反城教会文化教室にある小型のパイプオルガンを使用して、オルガニストのための集まりを開催します。

毎月決まったテーマについて、オルガンを弾く人に役に立つ参加型の小さな勉強の会としたいと思います。宗派は問いませんので、パイプオルガンを弾いている方、これから弾きたい方、楽器は弾かなくとも興味のある方、どうぞお気軽にお越し下さい。受講前後の時間には個人レッスンも可能ですので、ご希望の方は各講師にお問い合わせ下さい。

〈勉強会〉14:00-15:30 〈受講料〉一般3,000円 学生2,000円
 全8回分 一般21,000円 学生14,000円

準備の都合上なるべく事前のお申し込みをお願いいたします。
 当日13:30より受付を開始します。

6/4 パイプオルガンという楽器・作品・そして練習方法

これから初めてパイプオルガンに触る方へ、そしてもうすでにキャリアを積んでいる方へも、パイプオルガンの基本的な仕組みをおさらいすると共に、パイプオルガン作品のレパートリーを確認し、進度に合わせて弾ける作品と今後の役に立つ練習方法もご紹介します。 【講師:吉田文】

9.17 讃美歌 会場:ロゴスセンターホール

教会で歌われる礼拝の歌・讃美歌について詳しく扱います。讃美歌の歴史や種類、そして宗派や教会歴、礼拝の目的によってどのような讃美歌があるのかと共に、代表的な讃美歌をご紹介します。 【講師:加藤千加子】

10.15 14:30 レクチャー 15:30 コンサート 会場:カトリック五反城教会

まるで機械のような楽器・パイプオルガン。作品を聴く機会は増えてきましたが、パイプ一本ずつの音を聴く機会はなかなかありません。蜘蛛の糸のように細い音から最後の審判に鳴り響くようなトランペットまで、様々な音色と音域の出せる楽器・パイプオルガンの秘密に迫ります。14:30からレクチャー、そして15:30からコンサートをを行います。 【講師:吉田文】

主催:名古屋オルガンの秋 入場無料、コンサート後に任意のご寄金をお願いします。ヴェスペラ・ムジカはお休みです。

11.19 レクイエム 会場:ロゴスセンターホール

フォーレやモーツァルトのレクイエム作品は日本でも好んで演奏会に取り上げられます。おどろおどろしくもあり、平和と安らぎをも与えてくれるレクイエムのテキストは、本当は何を歌っているのでしょうか。教会音楽の立場から「レクイエム」について考察します。 【講師:吉田文】

主催 教会音楽Forum パイプオルガン個人レッスン受講をご希望の方は、直接ご希望の講師までお問い合わせください。

12.17 シリーズバツハ1 オルガン作品I 会場:ロゴスセンターホール

バロック芸術の最高峰を極める作曲家、ヨハン・ゼバスティアン・バッハ。オルガンのための作品は言葉のない音楽ですが、その内容は祈りに満ち溢れたものです。そのようなバッハのオルガン作品を、多くの音源を使用して解説しながらご紹介します。 【講師:吉田文】

1.21 教会音楽に関わる人のラテン語講座 会場:ロゴスセンターホール

ミサ曲やモテットなど、合唱や声楽に携わる人にとってラテン語は意外と身近なところにあるものです。グレゴリオ聖歌を歌う上でも欠かせません。この講座では、ミサ曲のテキストを基に、教会音楽で応用ができるラテン語の基礎をお伝えします。 【講師:吉田文】

2.18 シリーズバツハ2 ヨハネ受難曲 会場:ロゴスセンターホール

ヨーロッパの教会では、四旬節に入るこの時期から受難曲が多く歌われだします。受難曲の発祥と歴史、そしてバッハ作曲のヨハネ受難曲について解説します。 【講師:吉田文】

加藤千加子 chikako305@hotmail.com 080-2612-8958
 吉田文 mail@aya-yoshida.de 090-6076-8490

7/2 バロックの音楽とその規則

17・18世紀のバロック音楽について、オルガンだけでなくほかの楽器を弾く時にも参考にできるような演奏上の規則を取り上げます。拍感や、イネガール奏法、装飾音などについてご説明します。 【講師:加藤千加子】

※8月はお休みです。

9/3 レジストレーション

時代や国ごとにどのようなストップやその組み合わせがあったか、曲ごとに可能なレジストレーションの方法など、実際に役に立つオルガンの響きの組み合わせについて扱います。 【講師:加藤千加子】

10/1 バツハ・クラヴィア練習曲集第3巻より キリエBWV 669-674

クラヴィア練習曲集第4巻(Dritter Teil der Clavierübung)の全体像とそこからキリエの6曲について、音楽と信仰の関係を中心に考察します。 【講師:加藤千加子】

11/5 オルガン作品の歴史I「前奏曲・幻想曲・トッカータ」

【講師:吉田文】

12/3 オルガン作品の歴史II「コラール編曲」

【講師:吉田文】

1/14 オルガン作品の歴史III「フーガ・変奏曲」

【講師:加藤千加子】

3回に渡って、オルガン作品の歴史をジャンルごとにご紹介します。

2/4 怖くない・現代のオルガン音楽

1960年以来オルガンの作品も現代音楽・前衛音楽の流れを受けて多様に変化してきました。現代音楽におけるオルガンの作品を幾つかの例によってご紹介します。又、20世紀後半以降に書かれた「実用的な」作品も合わせてご紹介しますので、是非、現代音楽にもチャレンジしてみてください! 【講師:吉田文】